

2011年4月1日～2021年3月31日の間に 札幌医科大学附属病院リハビリテーション科において高次脳機能障害の診断を受けられた方へ

—「論理的記憶障害の発現メカニズムに関する検討」へご協力をお願い—

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 土橋 和文

研究責任者 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 石合 純夫

1. 研究の概要

1) 研究の目的

論理的記憶とは、ニュース記事のような文章を聞いた後に内容を思い出す“物語の記憶”です。札幌医科大学附属病院リハビリテーション科において高次脳機能障害の診断を受けられた方で、論理的記憶課題の成績に低下がみられた方の詳細な高次脳機能を調べて、論理的記憶障害に対するリハビリテーション方法の開発や、患者さん自身の代償手段獲得に貢献することがこの研究の目的です。

2) 研究の意義・医学上の貢献

この研究の成果は、論理的記憶障害の発現機序の解明及び個々の患者さんに適したリハビリテーション方法発見のきっかけとなり、患者さんの治療や社会復帰に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年4月1日～2021年3月31日の間に札幌医科大学附属病院リハビリテーション科において高次脳機能障害の診断を受けられた方が研究対象者です。

2) 研究期間

病院長承認日～2023年3月31日

3) 予定症例数

2021年3月31日時点で、14人を予定しています。

4) 研究方法

2011年4月1日～2021年3月31日の間に当院において高次脳機能障害の診断を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに論理的記憶障害に関連したデータを選び、論理的記憶障害に関する分析を行い、論理的記憶障害の生じるメカニズムについて調べます。

5) 使用する情報

この研究には、大学病院のカルテや神経心理学的検査資料に記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名
- ・ 神経心理学的検査の結果
- ・ CT画像あるいはMRI

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、紙に記録された内容は附属病院リハビリテーション部にある鍵のかかる言語聴覚療法室3に保管致します。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、臨床研究審査委員会（倫理委員会）にて承認を得ます。

7) 情報の管理責任者

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 石合 純夫

8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

9) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2021年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。ご連絡頂いた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。

<問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学附属病院リハビリテーション部 理療専門員 氏名：黒川 翔

電話：011-611-2111 内線 56920（平日：8時45分～17時30分）

ファックス：011-621-8059